

令和元年度

学生によるオレンジリボン運動

四天王寺大学 実施報告書



実施主体 四天王寺大学 人文社会学部 人間福祉学科 健康福祉専攻
実施内容 大学祭来場への「メッセージカード付オレンジリボン」配布

①事前に取り組んだ内容

6月から作業を開始して、10月までに「メッセージカード付オレンジリボン」を7種類計800個作成した。併せて「児童虐待に関する情報を掲載したパネル」を6種類作成した。また大学祭直前（10月31日）には、大学1回生全員が受講する授業で、児童虐待の現状とオレンジリボン運動の趣旨、および大学祭での活動の案内を行った。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

大学祭期間中の2日間、それぞれ11:00~14:00の時間帯に、来場者に「パネル」を示しながら、「メッセージカード付オレンジリボン」を配布した。

③オレンジリボン運動を終えて…

今年度はこれまでで一番、学生がカードに書くメッセージとパネルに書く情報が充実していた。

振り返りの文章のなかでは、児童虐待を単に親の問題としてではなく、もっと広い社会の問題として理解するようになったというのが目立った。例えば、ある学生は次のように書いていた。「私は、最初、児童虐待をする人だけが悪いと思っていたが、今は児童虐待をする人はなぜそういう状況にまで追い詰められたのか、その背景まで考えるようになった。」

今後も、この運動を通じてこういう学生が増えることを願っている。

写真



【四天王寺大学】 <https://www.shtennoji.ac.jp/ibu/>